

日本矯正歯科学会 専門医/日本矯正歯科学会 認定医

医療法人社団

宇治歯科医院



"健康は正しい噛み合わせから"

～噛む機能と

全身のつながりを熟知した治療～

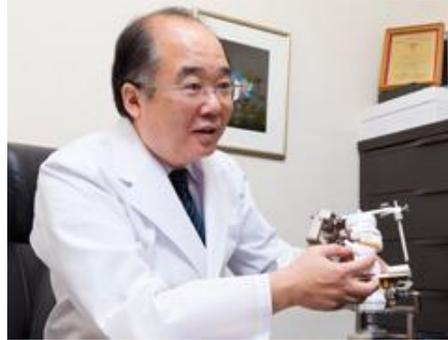
宇治歯科医院院長 宇治文孝

宇治歯科医院 小冊子

はじめに

こんにちは。宇治歯科医院院長・宇治文孝です。

当院は、神奈川県横浜市営地下鉄吉野町駅から徒歩1分の通院に便利な場所にあります。診療内容は一般歯科から入れ歯、予防歯科まで幅広く、地域に根差した総合歯科医院です。



私は、「健康は正しい噛み合わせから」をモットーに診療してきました。今まで診療してきた患者さんの中で、噛み合わせに悩む患者さんが多くいらっしゃいました。症例にもよりますが、ほんの1マイクロ咬合調整ただけで、改善された方も少なくありません。

この小冊子ではこうした噛み合わせ治療を中心とした、当院の診療内容や治療の特長についてまとめました。みなさんの大切な歯を守るきっかけになれば幸いです。

当院が選ばれる6つの特徴

ところで、みなさんは歯科医院を選ぶ時にどんなことを基準にしていますか？この章では、当院が選ばれる特長として、6つのポイントをあげました。ぜひ歯科医院選びの参考にしてみてください。

【1】かぶせ物・さし歯・入れ歯のエキスパート【補綴指導医・専門医】

当院の院長は、人工歯やさし歯、入れ歯などの補綴治療を得意とする補綴指導医・専門医です。

日本補綴歯科学会では補綴専門医制度を設け、補綴物に精通する歯科医師の育成に努めています。その選考基準は厳しく、基礎医学や学会および論文での発表などのさまざまな条件を満たした者だけにしか与えられません。

【2】噛む機能と全身のつながりを熟知した治療【補綴歯科治療】

補綴歯科治療の目的は、失われた歯の機能回復です。心身ともに健康な状態を保つためにも、噛み合わせを考慮した治療が求められております。

【3】患者さんの状態を正確に診査・診断【カウンセリング】

補綴歯科治療は、全てが診査・診断で始まります。患者さんの噛み合わせの状態を正確に診査・診断して、正しい基準を見極めることが大切です。



カウンセリングではお口の中を拝見した上で、現状でお困りのことやお悩みのことをお伺いしながら、どのような治療が必要になるのかをご説明させていただきます。治療に関するご要望やご不明な点・疑問点などがございましたら、ご遠慮なさらずにお気軽にご相談ください。

【4】よく噛めて、楽しく話せる入れ歯

当院では、一人ひとりの患者さんに合った入れ歯をご提案しております。当院で扱っている入れ歯は、保険が適用できるプラスチック床の入れ歯から、自費でお作りする良く噛めるブレードの歯を使った入れ歯、シリコン素材を使ったソフト入れ歯、耐久性に優れた金属床など幅広く、患者さんのお口の中の状態やライフスタイル、ご予算に応じてお選びいただけます。

【5】口元を美しくするために治す審美歯科治療

審美歯科治療は、歯並びなどの美しさや歯の白さなどを追及した、口元の美しさを引き出す治療です。とはいえ美しさばかりを追求しましても、しっかり噛み合わなければ、お口の中の健康を守ることはできません。

当院が考える審美歯科治療とは、機能性・審美性の両方に焦点をあてた治療です。患者さんのお顔立ちに相応しい歯並びと歯の色を再現することによって、健康的で美しい口元を追及いたします。

【6】いつまでも自分で食事できるよう、歯を長持ちさせる【予防歯科】

予防歯科とは、むし歯になる前に歯を予防する治療です。お口の健康を維持するためにさまざまな処置を行います。

食後に欠かさず歯磨きしているにも関わらず、むし歯になりやすい方、あるいは治療後に再び同じ場所がむし歯になってしまう方などには、特に予防歯科をおすすめしております。

院長の技術力

当院の院長は、人工歯やさし歯、入れ歯などの補綴治療を得意とする補綴指導医・専門医です。患者さんのお口に合った補綴物をお作りし、噛み合わせ機能の維持・回復・向上に努めております。



「補綴(ほてつ)」とは、失われた歯を人工歯(詰め物やかぶせ物、さし歯、入れ歯など)で修復する治療のことです。治療は、1 ミクロ単位と細かく、神経を研ぎ澄まさなければなりません。それゆえ、補綴物の精度を高めるには、高度な技術と専門的な知識が要求されます。

こうした中、日本補綴歯科学会では補綴専門医制度を設け、補綴物に精通する歯科医師の育成に努めています。その選考基準は厳しく、基礎医学や学会および論文での発表などのさまざまな条件を満たした者だけにしか補綴専門医の資格は与えられません。院長はこの資格を持つ、数少ない補綴専門医の一人です。専門知識と高度な技術を駆使し、安定性の高い補綴物に仕上げますので、必ずやご満足いただけるかと思えます。

厳格な審査のため全国でも数少ない補綴指導医、専門医

現在、歯科医師の数は全国で約 9 万人います。その内、補綴専門医の資格を有する者は、約 1,000 名程度、指導医になると約 640 名程度しかおりません。

国内には数多くの学会が存在し、参加するだけで資格が取得できる団体もあります。しかし、これでは歯科医師の技術向上につながりません。こうした現状を踏まえ、日本補綴歯科学会では厳格な基準を設け、経験と実力のある歯科医師だけを専門医として認定する認定医制度を制定しました。

特に指導医は、学会が認める最高の資格であり、専門医を指導する責任ある立場です。つまり、補綴専門医である院長は、被せ物・詰め物・入れ歯のエキスパートであるといえます。

補綴歯科治療って？

私たちの歯は、生きていく上で大切な役割を担っています。食べ物を十分に噛み砕き、飲み込み、そして喋ることができるのも、歯があるおかげです。



よく噛むことで血流がよくなり脳が活性化します。また、リラックス効果も高く、寝たきりの予防も期待されています。歯は生きていく上で欠かすことのできない器官といえるでしょう。

もし、歯を失ってしまったらどうなるでしょうか？食事や会話が不自由になり、健康な生活が送れなくなります。そこで、必要な治療が補綴(ほてつ)歯科治療です。

補綴歯科治療の目的は、失われた歯の機能回復です。心身ともに健康な状態を保つためにも、噛み合わせを考慮した治療が求められています。

かぶせ物をしたときの違和感「すぐ慣れますから」はよくない！

人間のからだには骨格や歯など、さまざまな器官があり、これらがバランスを取り合うことで健康が保たれています。噛み合わせのバランスもその一つです。たった1本の歯が1ミクロ変化しただけで噛み合わせに違和感を覚え、隣接する歯や噛み合わせる歯、あごの形状にまで影響を与えます。

噛み合わせは、口を閉じたときに上下の歯が接触する状態のことをいいます。正常な状態でしたら、上下の歯がきちんと噛み合いますが、むし歯治療や抜歯があると、それが狂ってしまいます。

また、からだとも密接な関係があり、頭痛や肩こり、めまいや胃腸障害などを引き起こし、全身にさまざまな影響を与えることがあります。

補綴治療では、全身のバランスをチェックしながら、噛み合わせの調整を行っていきます。

もし、歯科治療をした後、違和感がありましたら、一度、噛み合わせのご相談に行かれることをおすすめいたします。

よく噛めることは健康への第一歩

歯を失った後、治療をしない状態が続くと、どうなるでしょうか？まず、歯ぐきが痩せてきて口元のハリがなくなり、唇にもシワが寄り、実年齢よりも老けた印象になってしまいます。それに加え、食生活にも影響を与え、食べ物が噛みにくくなり、硬い物が上手く食べられなくなり、食事のバランスが崩れてしまいます。

これらを改善するためにブリッジや入れ歯を入れますが、何度か調整を繰り返しても「噛めない。」「話しにくい。」「噛み合わせがしっくりしない。」とお悩みられる方も少なくありません。

補綴歯科治療で重視していることは、補綴装置をお口の中に入れた後に患者さんとのようになじむか、できるだけ負担をかけずに患者さんが望むものをご提供できるかです。

入れ歯を作って終了ではなく、違和感がありましたら、迅速に対応していかなければなりません。

健康の第一歩は、よく噛めることです。末永く健康に暮らすためにも、ご自身に合った入れ歯をお作りすることが大切です。

カウンセリングについて

さて、ここまで噛み合わせの重要性について述べてきましたが、人間の口腔内はとても敏感な場所です。補綴物(かぶせ物・詰め物)が、わずか1ミクロ高くなっただけでも違和感が伴います。噛み合わせを安定させるためにも、正確な診査・診断が求められます。



補綴歯科治療は、全てが診査・診断で始まります。患者さんの噛み合わせの状態を正確に診査・診断できなければ、正しい基準を見極めることはできません。たとえば、総入れ歯を作るときは、患者さんのお口の中には歯が1本もありませんので、歯ぐき(土手)の一番高いところを基準にして作ります。しかし、この方法では、あごのアーチを考慮しないため、噛み合わせが悪くなってしまいます。

患者さんのお口に合った正しい入れ歯を作る上でも、きちんと審査・診断することが大切です。

噛み合わせ治療の診査・診断

■カウンセリング(30分) ※有料 2,100円(税込)

お口の中を拝見した上で、現状でお困りのことやお悩みのことをお伺いしながら、どのような治療が必要になるのかをご説明させていただきます。治療に関するご要望やご不明な点・疑問点などがございましたら、ご遠慮なさらずにお気軽にご相談ください。

■精密検査

●補綴検査項目(15分)

お口の中の状態を詳しく調べます。検査項目には、歯や歯周病組織、歯並び、噛み合わせ、あご関節の状態などを調べます。また、レントゲンを撮り、口腔内全体やあごの骨の状態を確認します。さらに、カリエス検査と歯周病検査を行い、むし歯や歯周病の有無を確認します。



●咬合検査項目(30分)

バランスのとれた理想的な噛み合わせの位置を調べるために咬合検査を行います。咬合検査では、検査器具を使い、上あご・下あごの筋肉の働きや、咬合のズレ、歯の接触

状態などを確認します。検査内容は次の通りです。

顎模型、フェイスボウ・トランスファー、ダイレクト・チェック・バイト、マウント(ABE's SHILLA SYSTEM)、ゴシック・アーチ・トレーシング、リマウント

■診断

検査結果を基に5つの座標軸(垂直座標・水平座標・矢状座標・側方座標・前後座標)に沿って、噛み合わせやあごの歪みやズレを診査・診断します。

噛み合わせ治療は、保険診療と自費診療の両方が適用できますが、保険でできる治療には限界があり、治療期間も長引きます。それぞれのメリット・デメリットをご説明した上で、患者さんのニーズに合った治療方法を選択していただきます。

噛み合わせ相談時の治療選択

■(1)矯正治療

当院の提携矯正専門医をご紹介します。

■(2)矯正まで行わない必要のない方や

矯正まで踏み切れない方には

噛み合わせの悪い歯が1本でもありますと、

お口の中全体のバランスが崩れ、あごの位置にも影響を及ぼします。軽度の噛み合わせ不良、または矯正治療が難しい場合は、噛み合わせが悪い歯を削ったり、コンポジットレジンなどを足したりすることによって改善します。

患者さんの中には健康な歯を削ることに抵抗感を持たれる方もいらっしゃいます。そのようなときには、咬合器を使い、実際の噛み合わせを再現しながらご説明いたします。たとえば、上の歯が1本だけ伸びていますが、咬合器で動かしたときに下の歯にあたり、噛み合わせのジャマになります。実際の噛み合わせを再現することによって、視覚的にイメージでき、多くの患者さんにご理解していただいております。



■(3)整体をご紹介

噛み合わせと体のゆがみは密接な関係があります。当院では、整体治療が必要な患者さんには整体治療院「松原治療院」をご紹介します。

同治療院では、松原次良院長が独自に考案した整体治療「クリニカル・バイオホログラフィック・システム(CBS)」を行っております。この治療は、ホリスティック医学に基づいた、自然治癒力を引き出す整体治療です。

なお、当院はクリニカル・バイオホログラフィック協会(CBA)会員の歯科医院です。

失った歯の治療

むし歯や歯周病などで歯を失ったとき、歯の機能を回復する治療には「入れ歯」「ブリッジ」「インプラント」があります。

■インプラント

インプラントとは、あごの骨の中にチタン製の人工歯根を埋入し、その上から人工歯を被せる治療です。ブリッジのように両隣の歯を削る必要がなく、他の歯に負担がかからず、審美性・機能性に優れた、第三の歯ともいわれている治療方法です。



■入れ歯

歯を失ったときの最もポピュラーな治療方法です。ブリッジのように健康な歯を削る必要がなく、比較的短期間に治療が終わります。しかし、両隣の歯に金具で固定させる



ため、若干不安定です。そのため、咀嚼力が弱まり、硬い物も噛みにくくなります。

最近では、従来に入れ歯に改良を加え、装着感や機能性・審美性を追求した快適な入れ歯も数多く登場しています。

■ブリッジ

失われた歯の両隣にある健康な歯を削り、橋をかけるようにかぶせ物を装着する治療方法です。



入れ歯と違い、人工歯を両隣の歯にしっかり固定しますので、食事をするときに感じる違和感や痛みがありません。しかし、両隣の歯を削るため、健康な歯を痛める原因にもつながります。さらに、支えとなる2本の歯に3本分の力が加わるため、その分負担が増し、歯の寿命を縮めてしまうこともあります。

インプラント治療

「インプラント」「入れ歯」「ブリッジ」の3つの治療方法についてご紹介しましたが、ここからは「インプラント」についてももう少し詳しくご説明します。



インプラントとは、チタンなどでできた人工歯根（インプラント体）をあごの骨の中に埋め、その上から人工歯を被せる治療です。入れ歯のように金具で固定したり、ブリッジのように歯を削ったりすることがありません。しかも、天然歯と遜色のない美しさと噛み心地が得られます。

しかし、インプラントは外科的手術が必要な治療です。さらに、危険が伴います。安全かつ正確な治療を行うためにも、事前の精密検査は欠かせません。そこで院では、手術の安全性を高めるために、インプラント治療を始める前に必ず精密検査を行います。あごの骨や状態を細かく確認し、人工の歯根（インプラント体）を埋入する位置を正確に割り出して確認いたします。

インプラントを安定させ、長年使うために重要なこと

インプラント体は人工物です。それ自体が細菌やむし菌に感染することはありません。しかし、周囲の歯や歯肉に歯周病があると状況は変わります。インプラントを支える周囲の歯肉にまで感染が広がりますと、インプラント周囲炎を引き起こします。

もし、感染に気付かなければどうなるでしょうか？インプラント体を支えている骨が細菌に溶かされて抜け落ちてしまいます。歯周病を完治しなければ、インプラントは始まらないといえるでしょう。

インプラント治療で失敗しないためには歯科医師選びが重要です。歯周病治療をきちんと行える歯科医院を選び、術前・術後のメンテナンスも含めて歯周病にならない環境を保つことにほかなりません。

インプラントを末永く快適に使うためにも、高い意識で治療に臨んでいただきたいと思います。

入れ歯

入れ歯を初めて装着したとき、ほとんどの方が違和感を覚えることでしょう。人によっては強いストレスを感じることもありますが、微調整を重ねていく内に違和感が減っていきます。



当院では、噛み合わせを重視し、一人ひとりの患者さんに最適な入れ歯をご提案しております。当院で扱っている入れ歯は、保険が適用できるプラスチック床の入れ歯から、自費でお作りするよく噛めるブレードの歯を使った入れ歯、シリコン素材を使ったソフト入れ歯、耐久性に優れた金属床など幅広く、患者さんのお口の中の状態やライフスタイル、ご予算に応じてお選びいただけます。

確かに保険で使用できる素材には限りがあり、違和感を訴える方も少なくありません。これは、素材の問題だけではなく、噛み合わせを考慮せずに作ったことが原因となる場合もあります。

大切なことは綿密な診査・診断を行って、正し噛み合わせの入れ歯を作ることです。補綴

に関する高度な知識と技術があれば、どのような素材でも安定性が高い入れ歯を作ることができますので、まずは、お気軽にご相談ください。

入れ歯の一流である阿部先生のもとで学ぶ(入れ歯 阿部晴彦 仙台)

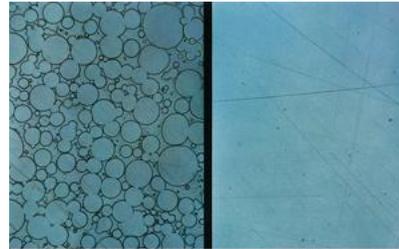
院長は、総入れ歯治療の第一人者である、阿部晴彦医師のもとで入れ歯治療を学んできました。阿部医師は、宮城県仙台市で阿部晴彦歯科診療所の院長として診療を続ける傍ら、阿部晴彦総義歯研究所を設立しました。入れ歯治療の第一人者としても日本をはじめアジア各国で活躍しています。阿部医師のもとには技術的に優れた技工士が大勢います。院長は、彼らとの交流を通じ、入れ歯作りのノウハウを学んできました。

歯科医師が行う型取りに沿って技工士が入れ歯を作ります。このとき、不正確な型取りをしてしまうと、入れ歯の仕上がりにも精巧さが欠けてしまいます。こうしたことから、入れ歯作りは歯科医師と技工士との二人三脚といわれています。当院では、技術の高い技工士と連携して入れ歯を作っております。

それぞれのニーズに適した、さまざまな入れ歯

■イボカップシステム(球体のかたまり)

当院では、「イボカップシステム」を用いた入れ歯をご提供しております。これは、最先端の義歯成形システムであり、噛み合わせを追求した完成度の高い入れ歯です。素材には軽くて薄く変質が少ない粒子の小さいプラスチック素材を使用してい



従来の材料

イボカップ

ます。これを加圧充填することによって、素材の密度が高くなります。また、素材の気泡がなくなりますので、臭いや汚れが付きにくくなり、強度にも優れた入れ歯に仕上がります。

このシステムは非常に精密な作業が多く、完成までに大変な手間がかかります。しかし、極めて完成度が高い仕上がりで、お口の中に吸い付くようなフィット感と、安定した噛み心地が得られます。

■厚みが気になる方に【金属床の入れ歯】

上あごに接する部分(義歯床)が金属でできている入れ歯です。薄くて違和感が少なく、

熱伝導率が高く、食べ物の温度を損なうことはありません。

保険で作る入れ歯は、義歯床が 1.0~1.4mm と厚めですが金属床は約 0.5mm と薄い仕上がりです。特に、義歯床の厚みによって、お口の中が狭く感じる方に適しています。



■痛みが気になる方に【シリコンの入れ歯】

生体用シリコン素材を使用した、柔らかくて痛みがほとんどない快適な入れ歯です。裏面を柔らかいシリコンで覆っていますので、クッションのようなソフト感があり、歯に加わる力も吸収してくれます。特に、あごの骨が痩せている方や、歯ぐきが薄い方などにおすすめいたします。



■保険義歯

保険が適用できる経済的に負担の少ない入れ歯です。初めて入れ歯を作る方には、入れ歯に慣れていただくためにも、保険義歯をおすすめしております。



一般歯科(むし歯治療)

一昔前の歯医者さんでは、むし歯を削って治す治療が一般的でした。また、ひどいむし歯になりますと、抜歯をして入れ歯やブリッジを入れていましたが、それは噛み合わせが狂ったり、歯を痛めたりする原因にもなっていました。最近では、できるだけ歯を削らない・抜かない治療が主流になりつつあります。



当院では、患者さんの健康を考慮した、できるだけ歯を削らない・抜かない治療を心がけております。激しい痛みがあり、患者さんが抜歯をご要望なさっても、炎症を起こしているだけのときは、抜歯をせずにレーザー治療で炎症を抑えます。

しかし、全ての治療に適用できるわけではありません。場合によっては大きく削ったり、歯を抜いたりすることもあります。そのようなときは、歯を削るメリット・デメリットをきちんとご説明し、患者さんのご要望をできるだけ尊重しながら治療を進めていきます。

早期発見・早期治療を行えば、大切な歯を守ることができます。少しでも異変にお気づき

になられましたら、お早めに受診なさることをおすすめいたします。

できるだけ痛くない治療で患者さんの負担を軽くする

治療中に患者さんが緊張する場面があります。それは、麻酔注射を打つときです。本来、治療中の痛みを和らげるために行うものですが、麻酔注射自体に苦手意識をお持ちの方も少なくありません。麻酔注射をする前に表面麻酔を使い、できるだけ苦痛を与えないようしていますが、それでもなお苦手意識はなくならないようです。

院長自身も痛みが苦手ですので、麻酔をするときはできるだけ痛みを与えない工夫をしております。患者さんからは「え、注射したんですか？」と驚かれることもしばしばあります。お子さんでも痛がったり、怖がったり、泣いたりすることはありません。痛みにも敏感な方でも、ご安心して治療を受けていただけます。

審美歯科治療

審美歯科治療とは、歯並びなどの美しさや歯の白さなどを追及した、口元の美しさを引き出す治療です。とはいえ、美しさばかりを追求しましても、しっかり噛み合わなければ、お口の中の健康を守ることはできません。

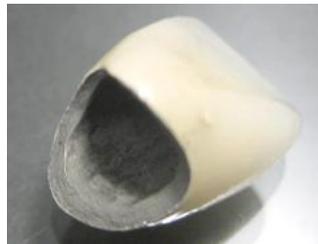


当院が考える審美歯科治療とは、機能性・審美性の両方に焦点を当てた治療です。患者さんのお顔立ちに相応しい歯並びと歯の色を再現することによって、健康的で美しい口元を追及していきます。

詰め物やかぶせ物が目立たない白い歯に

■【メタルボンド】金属とセラミックを用いているので強度が高い

メタルボンドとは、金属とセラミックの両方を使った人工歯です。金属の上からセラミックを覆っていますので、強度に優れています。自然な白さを再現し、色素の付着や変色の心配がほとんどありません。歯の色でお悩みの患者さんに適しています。



■金合金

自然の歯により近い強度がある人工歯です。力がかかりやすい奥歯の治療に適しています。金合金銀歯に比べて、金の含有量が多く、歯肉に馴染みやすく、噛み合わせても歯肉に負担がかかりません。また、銀歯に比べ、金属アレルギーが出にくい素材です。

※金属アレルギーをお持ちの方は、事前に歯科医師にご相談ください。



■銀歯

保険が適用できる人工歯です。主に奥歯など目立たない部位に使われます。審美性に欠けますが、日常的にご使用なさる場合において、支障が出ることはありません。



ホワイトニングで輝くような白い歯に

歯の色合いは人によって微妙に異なります。歯のくすみや変色の原因も、色素の濃い飲食物の着色から、薬物、歯の表面に付いた傷、あるいは遺伝などさまざまな要素が影響しています。こうした変色を取り除いてくれる治療が、「ホワイトニング」です。

■ホームホワイトニング

ご家庭で行うホワイトニングです。漂白作用のあるジェル(薬剤)を使い、徐々に歯の内側に浸透させていき、白くしていきます。



患者さんの歯型に合わせたマウスピース(トレー)を製作し、その中に低濃度のジェルを入れて装着します。1日数時間の使用を2週間程度続けると、歯の色が徐々に白くなっていき、好みの白さに調整することができます。

歯周病治療

歯周病の主な原因は細菌です。細菌に感染しますと、歯肉が炎症を起こします。さらに、歯肉の奥深くまで感染が広がりますと、歯根膜や歯槽骨まで溶かしてしまいます。



しかし、歯周病に感染しましても、初期段階ではほとんど症状が現れません。歯肉の腫れや出血などの自覚症状が現れた頃には、既にかかなり進行した状態となっています。それに加え、歯周組織まで破壊されていますので、既に手遅れとなるケースがほとんどです。

つまり、歯周病を放置することは、最終的に歯を失ってしまうことと同義だといえます。だからこそ、早期発見・早期治療が重要となります。

「自分は大丈夫」…そう思わずに、定期的な歯の健康診断を受けて、大切な歯を歯周病から守りましょう。

【当院の特徴】治療は、歯周病を治してからがスタート

むし歯の治療をしている患者さんの中には、歯周病を併発していることがあります。その場合、むし歯だけを治療することもできます。しかし、歯周病を放置したまま治療すれば、さらに進行し、最悪の場合、歯が抜け落ちてしまいます。

当院では、適切な治療を行うために初診時に必ず歯周病検査を行っております。万一、歯周病菌に感染している場合には、スケーリングを行い、歯石や汚れを取り除き、歯ぐきを引き締めてから人工歯(かぶせ物・詰め物)を入れます。

また、腫れや痛みなどがある緊急性を要する治療では、まずは応急処置だけを行い、その後、歯肉を改善させてからむし歯治療を行います。

最近の研究では、歯周病と全身疾患との密接な関係が指摘されています。歯周病菌が口から血管に入り、全身に広がっていくことで、糖尿病や心臓血管疾患、肺炎、さらには早産を引き起こします。全身の健康を維持するためにも、歯周病をしっかり治しましょう。

小児歯科

当院は、お子さんが怖がらないために、さまざまな配慮と工夫を凝らしている、“怖くない歯医者さん”です。



お子さんの治療で大切なことは、コミュニケーションです。コミュニケーションが不足すると、お子さんが怖がってしまいます。当院では、お子さんが楽しく笑って治療ができるように、“いつでも笑顔で優しい説明”を心がけております。

たとえお子さんが嫌がって泣いたとしても、きちんと説明を受ければお子さんでも理解できます。「ここにむし歯があって、このままにしておくと後でうんと痛くなるから、今治療しようね。」こう説明してあげると納得して、大きく口をあげて頑張って治療を受けてくれます。

また、ご家族も、治療内容がお分かりでなければ、傍にいても落ち着かないと思います。そんな不安が表情に現れますと、お子さんまで怖がってしまいます。

当院では、ご家族にもご安心してお子さんの治療を見守っていただくために、できるだけ

詳しくお話しするよう心がけております。一人ひとりのお子さんを尊重しながら、コミュニケーションを深めていきますので、ご安心してお任せください。

当院の小児歯科メニュー

■ 歯磨き指導(ブラッシング)

歯ブラシの習慣は歯が生え始めた頃から始まりますが、コツがつかめずに動きがぎこちないお子さんも多いようです。できるだけ早い時期に正しい歯ブラシの使い方を身につけてほしいと思います。

当院では、歯ブラシの握り方や動かし方を歯科衛生士がチェックし、磨き残しを鏡でお見せしながら歯ブラシ指導をいたします。

■ 歯質を強くするフッ素塗布

むし歯の予防効果が高いといわれるものの一つにフッ素があります。最近では、フッ素配合の歯磨きも数多く出回っていますので、ご存じの方も多いでしょう。

フッ素は、歯の再石灰化を促し、むし歯の進行を抑える働きがあります。毎日使う歯磨き

剤やジェル、あるいは洗口剤などの口腔ケア製品の中にもフッ素が配合されていますが、その中でも最も高い予防効果があるのが、歯医者さんで行うフッ素塗布です。高濃度のフッ素を塗布しますので、むし歯を防ぎ、高い予防効果を発揮してくれます。

■ むし歯を寄せつけないシーラント

シーラントとは、特殊な樹脂を歯の溝に埋めてむし歯を防ぐ治療方法です。むし歯の予防効果が高く、その効果は半永久的に持続します。しかし、シーラントと溝の間に隙間ができると剥がれやすくなり、そこからむし歯に感染する恐れもあるため、歯科医師の技術力が問われる治療といえます。

当院では、歯の1本1本にシーラントを丁寧に埋めていきますので、治療後に外れることはほとんどありません。しかし、お口の中の状態によっては100%外れないとは言い切れませんので、万々に備えて3ヶ月～半年に一度の定期的なメンテナンスをおすすめしております。

予防歯科(クリーニング)

予防歯科とは、その名の通り、むし歯になる前に歯を予防する治療です。お口の健康を維持するためにさまざまな処置を行います。



食後の歯磨きを欠かさずに行っているにも関わ

らず、むし歯になりやすい方、あるいは治療後に再び同じ場所がむし歯になってしまう方などには、特に予防歯科をおすすめしております。

予防歯科のメリット

歯に関する意識を高めることで、お口の中を健康な状態に保てます。ご自身の口内環境に関心を持ち、きちんと歯磨きを行うことで、むし歯や歯周病を予防できます。

(1)むし歯や歯周病など、お口の中のトラブルを未然に防ぐ

小さな異変も早く発見することができ、むし歯や歯周病の予防、お口の健康の維持につながります。

(2)治療の痛み・費用を低減できる

むし歯や歯周病の早期発見・早期治療ができ、治療期間が短縮され、費用負担も軽くなります。

(3)お口の中がスッキリする

プロが歯や歯肉のクリーニングを行いますので、お口の中全体が爽やかになります。エステ感覚で、定期的に通院される方も多くいらっしゃいます。

当院の予防歯科メニュー

■【メンテナンスメニュー】ブラッシング指導

患者さんに合わせたブラッシング指導を行っております。自分ではしっかり磨いているつもりでも、歯と歯の隙間や奥歯の裏側には意外と歯垢が残りがちです。歯科衛生士による歯ブラシの持ち方から動かし方、ブラシの当て方を指導いたしますので、汚れを落とすコツが習得できます。

正しい歯磨きを身につけ、汚れをキレイに落とすことで、むし歯や歯周病も防げます。美しく健康な歯を保つためにも、ブラッシング指導をおすすめいたします。

■【メンテナンスメニュー】歯石除去

歯垢は石灰化して固くなっていますので、ブラッシングでは落とすことができません。さらに、放っておくと細菌の温床になり、歯周病発症の主な原因となります。



一度付いてしまった歯石を自分で取ろうとすることは大変危険です。また、除去した後も時間が経つと、再付着しますので、定期的に歯医者さんで取り除いてもらいましょう。

■【メンテナンスメニュー】スケーリング&ルート・プレーニング

歯ぐきや歯周ポケットの内側は、プラークや歯石が付着していますが、毎日の歯磨きでは落とせません。こうした汚れは、歯の専門家による「スケーリング&ルート・プレーニング」でキレイに取り除くことができます。

「スケーリング&ルート・プレーニング」は、2つの施術を行う治療方法です。専用金具を使った「スケーリング」で歯ぐきや歯周ポケットに溜まっている汚れを落とした後、歯の表面を滑らかにして汚れの再付着を防ぐ「ルート・プレーニング」を行います。

施術後は、お口の中全体に爽やかさが広がり、歯肉が引き締まり、むし歯や歯周病予防効果が高まります。また、プラークなどの細菌を取り除きますので、口臭を抑える効果もあり、お口の臭いが気になる方にもおすすめいたします。

■【メンテナンスメニュー3】専門家による歯のクリーニング【PMTC】

PMTC(Professional Mechanical Tooth Cleaning)とは、歯の専門家が行う本格的な歯のクリーニングです。シリコンゴムの器具やペーストを使い、歯の表面に付着しているバイオフィルムや汚れを取り除いていく治療です。

施術中の痛みはなく、リラックスした状態で行いますので、ときには眠ってしまう方もいるほどです。

おわりに

いかがでしたか？ 当院の治療についてお分かりいただけただけでしょうか？ はじめにもお話ししましたが、当院では「健康は正しい噛み合わせから」をモットーにした診査と治療を行っております。ここでなぜ私が「噛み合わせ治療」にハマったのかをお話したいと思います。

随分昔のことですが、私がまだ30代だった頃、頻繁に鼻血を出していたことがありました。鼻血の多くは健康には影響はありませんが、外傷や炎症、腫瘍などが原因になっていることがあれば、噛み合わせが原因で片側の鼻が詰まりやすくなり、出血を起こすこともあります。

「もしかしたら、噛み合わせが原因かもしれない…。」そう思い、当時お世話になっていた歯科医師に、咬合調整をしてもらったところ、頭の後ろがストーンと軽くなり、ピタッと鼻血が治まったのです。

この実体験から噛み合わせの大切さを再認識するようになり、咬合調整を究めるようになっていきました。

ところで、噛み合わせは、鼻血だけでなく、メンタル面にも影響を及ぼします。以前、知人

の奥さまに咬合調整をしたことがあります。当時、なかなかお子さんができず諦めていたのですが、治療した後、すぐに妊娠したというのです。恐らく噛み合わせによるストレスが消えたためだと思いますが、あまりの出来事に、私自身驚いてしまった記憶があります。

入れ歯は人間が作った最高の臓器

歯を失った方は、入れ歯で噛み合わせを改善します。人によっては、入れ歯を嫌がって、作ったにも関わらず、使わずにいる人がいます。お口の中に入れても安定せず、ズレや痛みなどの違和感が強くて装着するのが辛いでしょう。それでも、歯科医師としては、せっかく作ったのですから使っていただきたいと思っています。



多くの方が嫌がる入れ歯ですが、実は、なかなか優れた装置なんです。入れ歯を使うと発音がよくなり、食べ物もしっかり噛めるようになり、体のバランスを取り戻すことができます。もちろん口元にもハリや美しさが蘇ります。そう考えると、入れ歯は人間が作った最高の臓器といえます。

ほとんどの方が保険の入れ歯では満足できないとおっしゃいます。しかし、そんなことは
ございません。安価な入れ歯でも綿密な診査・診断さえすれば、安定性の高いものが作
れます。

当院では、お口にぴったりフィットする入れ歯
作りを心がけておりますので、入れ歯でお悩
みの方は、お気軽にご相談ください。

宇治歯科医院

院長 宇治 文孝(うじ ふみたか)



【経歴】

院長 宇治 文孝(うじ ふみたか)

1982年 神奈川歯科大学大学院卒業

顎口腔機能修復科学講座 有床義歯補綴学分野 歯学博士(学位取得)

1993年 日本補綴歯科学会 認定医

1999年 日本顎咬合学会 認定医

【所属団体】

- ・日本補綴歯科学会 指導医、認定医
- ・日本顎咬合学会 認定医
- ・日本歯内療法学会 会員
- ・スタディーグループ SAEY
- ・神奈川歯科大学学術研究会九期会
- ・東京全身咬合研究会
- ・日本歯科医師会

医療法人社団

宇治歯科医院

宇治歯科医院

【住所】〒232-0014

神奈川県横浜市南区吉野町 3-7

Yビル 2F

【電話番号】045-261-8884



【診察時間】

午前	10:00～12:30
午後	14:00～19:00

休診日:木・日・祝

【アクセス】

●横浜市営地下鉄「吉野町駅」より徒歩 1 分